

「佐渡島の金山」の世界文化遺産登録を祝ってくす  
玉を割る地元関係者ら＝27日午後、新潟県佐渡市



「佐渡島の金山」のガイダンス施設「きりぎりすむ佐渡」（新潟県佐渡市）では、世界遺産委員会で「行われた審議のインターネット中継を地元住民や関係者ら約200人が見守った。20分ほどの審議で世界文化遺産への登

録が決まると歓声上がり、用意された金色のスティックバルーンを打ち鳴らして喜びを分かち合った。市民団体「佐渡を世界遺産にする会」の中野汎会長(83)は「これからが大事。貴重な文化遺産を守り、活

## 「これからが大事」 登録決定に 沸く住民

用して、この島が豊かになるよう皆さんと頑張っていきたい」とあいさつした。その後の記者会見では、これまで反発していた韓国が登録に賛成したことに触れ、「いかに仲良くやっていくかということも大きなわれわれの責務だと思う」と語った。

24日から家族旅行で島を訪れている長野県の小山田サトルさん(57)は、審議については知らなかったといい、「登録のタイミングで来られて良かったと笑顔。砂金採り体験などができて面白かった。他の観光施設や、昔ながらの町並みもあるの

で、また来たい」と話した。島での勤務経験がある県職員、今井友佳さん(26)は、「世界遺産登録をきっかけに、海や食など佐渡の良さを多くの人に知ってもらい、リピーターを増やしたい」と期待を寄せた。江戸時代の坑道の様子などを見学できる観光施設を運営する「ゴールデン佐渡」の鈴木徹社長(62)は、取材に「国内外から多くの観光客が来ると思うので、価値を理解してもらえ

## 佐渡市長ら「まだ夢見心地」

【ニューデリー時事】まだ夢見心地だ。インドで行われた世界遺産委員会の審議を見守った新潟県佐渡市の渡辺竜五市長や花角英世県知事は、「佐渡島の金山」の登録が決まると安堵の表情を浮かべた。各国代表団の関係者から次々と祝福を受けると、満面の笑みで応えた。審議後は「佐渡島の金山」と書かれた法被に袖を通し、インターネット中継を見守った日本のパブリックビューイング会場と一緒に万歳三唱した。「島民の夢がいま実現した。夢に包まれたような気持ちだ。今回が本当にスタートだ」と渡辺市長。

花角知事は「長年の県民の願いが実現する瞬間を迎えることができた。喜びを多くの人と分かち合いたい。世界遺産を次の世代に引き継ぎ、多くの方に活用していただきたい」と力を込めた。

■佐渡島の金山「世界の宝に」 岸田文雄首相は27日、「佐渡島の金山」(新潟県佐渡市)の世界文化遺産への登録決定を受け、「日本の宝から世界の宝となった」と歓迎するメッセージを出した。「世界的に比類ない希有な文化遺産だ」とした上で、「これからもしっかり守り、将来に引き継いでいけるよう、地元関係者の取り組みを支援していく」と強調した。

首相はこの後、新潟県の花角英世知事、佐渡市の渡辺竜五市長に電話で「心からうれしく思う。地元との緊密な協力があったからこそ今日にたどり着いた」と祝意を伝えた。